

# 令和3年度 東海村社会福祉協議会事業報告

令和3年度は、コロナ禍における2年目の年として、新たな生活様式のもと、工夫を凝らしながら地域福祉活動やサービスの提供に努めてきました。

令和2年度に実施した12の新型コロナウイルス対策緊急応援事業のうち、新たに3事業を実施するとともに、再度ニーズがあるものに対しては第2弾、第3弾と続けて実施しました。引き続き、ニーズを見極めながらコロナ禍で困難を抱える方々の力になれるよう取組みを推進していきます。

また、第5次東海村地域福祉活動計画並びに第4次東海村社会福祉協議会発展・強化計画の策定にも着手いたしました。昨今の地域共生社会に向かう施策を前向きにとらえ、東海村における重層的支援体制整備の一翼を担うべく、各計画においてしっかりとそのあり方を描いていきます。

総合福祉センター「絆」の開館についても、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を踏まえ、一時休館等の措置を実施したところですが、引き続き住民の皆さまの利便性を図りつつ、適切な管理に努めます。

## 重点事業

### 1. 住民活動や福祉教育の強化

地域福祉推進係では、地区社会福祉協議会と福祉活動をともに推進するパートナーとして、行政や関係団体と連携し、横断的なつながりの強化を図り、地域密着型の地域福祉活動の充実に向け支援に取り組んでいます。本年度も長引くコロナ禍により、食事会など直接交流を持つ事業の開催が難しくなりましたが、安否確認等訪問型事業への支援をはじめ、食事会利用者に対しては「つながるふくしんぶん」を、ふれあい協力員リーダーに対しては「ふれあい協力“便”」といった、情報紙の発行にも力を入れ、つながりを絶やさないための工夫を続けてきました。

福祉教育は、幼児から高齢者まで、世代を限定しない“全世代対象型”の福祉意識醸成を目的に取り組んでいます。ICT活用に注力した年度となりました。出前講座に関しては、スマホの使い方を地域で教える「ぷらっとスマホ広場」「地域でできるスマホ講座」を中心に、コロナ禍で停滞する地域の居場所づくりに関して、新たな視点で呼びかけを行うことができました。また、単なる操作説明だけでなく、出張型相談をスマホ広場と併せて開催するなど、住民の方が持つ生活課題を、相談支援機関につなぐ視点も盛り込みました。

特に、小・中学生を対象とした福祉学習においては、障がい者の日常生活の様子を動画撮影し、児童に見てもらう学習方法を新たに取り入れています。それにより、これまでの対面学習では実現不可能であった、自宅での生活や仕事の様子を見てもらうことができるようになり、どのような工夫を日々の生活で取り入れているかに触れてもらえるようになりました。このことで、障がいに対して負のイメージを植え付けてしまう「貧困的福祉観」の回避につなげることができたものと考えます。次年度以降は、コロナ禍で低調となった地域交流の部分で、コミュニティスクールとの連携を再び図り、ICT活用のノウハウを活かした新たな福祉教育提供の形を提案・コーディネートしていきます。

### 2. 総合的な生活支援体制の構築に向けて

生活支援ネットワーク係では、令和4年度から新たに実施する重層的支援体制整備事業における移行準備事業に取り組みました。村が主催する重層的支援体制整備ワーキング委員会に参画し、東海村総合福祉センター「絆」におけるワンストップ相談窓口の設置など、属性を問わない包括的な相談支援体制づくりに向けた準備を進めました。

村全域をカバーする第1層協議体である「絆まるっとプロジェクト」では、地域住民や専門職、村内企業との連携のあり方について話し合いを行い、その後「ひきこもり者等バックアップ事業“ファーストステップ”」において、実際に企業や農家などにおける就労体験など、社会参加のための支援につながりました。また、コロナ禍における住民同士の新たな支えあいの仕組みとなる「フードロスマッチング事業」を開始しました。

総合相談事業では、前年度に引き続きコロナ禍による生活困窮相談が相談の大部分を占め、生活福祉資金特例貸付や法外援護事業による支援を行いました。また、「困ったときはお互い様！特設きずなパントリー」の実施や新たな村内店舗におけるフードドライブ活動の広がりにより、コロナ禍における食の支援が必要な世帯への食糧提供を進めました。

福祉後見サポート事業においては、成年後見制度を通じて要支援者の権利擁護を行うとともに、近隣の9市町村や社会福祉協議会、各種職能団体等で構成する、茨城県中央地域権利擁護地域支援ネットワーク協議会に参画し、広域中核機関の設置など、権利擁護支援における地域連携ネットワークの構築に向けた取り組みを進めました。

また、学習支援事業においては、コロナ禍により度々の活動休止を余儀なくされましたが、参加人数等に配慮しながら、学習支援ボランティアを増強し、児童や生徒の学び直しや学習意欲の向上、必要に応じて養育者や世帯が抱える生活課題にもアプローチした支援を展開しました。

### 3. 地域福祉の視点に立った介護サービスの提供

居宅介護支援事業所では、利用者の尊厳を保持し、住み慣れた環境で自立した日常生活が継続できるよう利用者一人ひとりの個性に合わせた個別支援の強化に取り組みました。

コロナ禍により対面での支援が制限される中、MCS(※)等も活用し、利用者や支援関係者間での情報共有を図りました。

利用者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう利用者の隣近所の方へ見守りの協力や民生委員・児童委員との情報共有を働きかけました。

特定事業所加算を取得し、「安定した財源の確保」につなげ、「個別支援における質の向上」を図りました。  
※MCS(メディカルケアステーション)…介護・医療に関係する機関及び利用者、利用者家族が利用できるソーシャルネットワーキングサービス。

### 4. 地域で支える子育て支援

児童センターでは、開館時間や人数の制限を設け、感染症予防を徹底しながらセンターを利用する親子に寄り添い、安心して活動できる場の提供を行いました。また、気軽に育児の悩みや相談を打ち明けやすい環境づくりに努め、一人ひとりに寄り添った支援を行いました。相談内容によっては他機関の情報を提供し、必要と思われる機関につなぐことができました。

さらに令和3年度は、来館した利用者同士が新しい絆を築けるよう地域の活動について情報提供し、利用者間を「つなぐ」ことに取り組みました。今後も地域を巻き込んだ事業を展開していきます。

養育者に対しては心身の気分転換を兼ねて、養育者同士の交流ができる場として「ママリフレッシュ事業」を継続して開催しています。

子育て支援の拠点としては、主任児童委員や子育てコーディネーターと連携を図り、些細な事でも悩みを抱える養育者に寄り添い、安心して過ごせる居場所の強化を図るとともに、SNS等を通してセンターの情報を周知したりセンターに来館できない親子へ家庭でも見ながら一緒にできる制作やリズムなどの動画配信を行いました。

### 5. 障害者センターの運営

障害者総合支援法に基づき、安全に十分配慮した事業を実施してきました。また、利用者へのサービスについては、個々の状態やニーズを適切にアセスメントし、生活介護の通所を実施しました。自立訓練は利用実績がないため、本年度より事業を廃止しました。コロナ禍による事業の利用制限や活動の自粛に伴い、送迎の一部を利用者家族に担っていただく体制は、現在も継続しています。また活動は、三密を避け安全に基づいた支援を行いました。

児童発達支援事業においては、通常支援に併せて幼稚園児の夏休みや午後の支援を行っています。また、母親の育児疲れからくる虐待防止に注視して支援を行いました。引き続き、関係機関との連携は切れ目のない療育の一つとして継続しています。

特定相談支援事業と障害児相談支援事業については、職員の研修受講により相談受け入れ体制をさらに強化することができました。また、なごみで行っていた日中一時支援を、本年度より開始しました。

### 6. 誰もが親しみを持てるセンター運営を目指して

令和3年度については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、休館対応や環境整備、サテライトオフィス設置等、感染対策を対応しながらの施設運営を実施してきました。また感染対策を踏まえて、施設内のICT化の一環として「絆」館内の無線Wi-Fiや職場内の無線LAN環境の整備を行政と検討し、業務内ネットワークの無線環境を整備しました。利用者が使用できる無線フリーWi-Fiの環境整備については、引き続き行政と協議を進めていきます。

新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止していた総合福祉センター運営委員会を2年ぶりに開催し、総合福祉センターの福祉拠点機能について、協議を再開しました。センター内の厨房やふれあいロビー等の共有スペースの活用について、意見聴取・協議を進め、令和4年度以降に環境整備について、行政と検討・協議をしていきます。

### 7. 「第4次東海村地域福祉活動計画」並びに「第3次東海村社会福祉協議会発展・強化計画」の着実な推進に向けて

第4次地域福祉活動計画並びに第3次発展・強化計画の4年目の年となりましたが、3年目に実施した中間見直しが新型コロナウイルスの影響でずれ込んだものの、5月には答申をいただき、実施計画を中心に適切な見直しを図ることができました。

また、10月からは第5次東海村地域福祉活動計画並びに第4次東海村社会福祉協議会発展・強化計画の策定作業に入りました。5年間の効果測定を図るとともに、昨今の地域共生社会の実現に向けた施策を活用しつつ、この先5年間の地域福祉活動のあり様の検討を開始しています。

引き続き、計画策定協働ワーキングチームや推進委員会の意見・助言を得ながら、東海村における包括的な支援体制の整備に向けた体制を描いていきます。

## ○ 理事会

第1回理事会(令和3年6月3日 多目的ホール 出席者:理事10名, 監事1名)	
報告第1号	令和2年度東海村社会福祉協議会補正予算について
承認第1号	令和2年度東海村社会福祉協議会事業報告並びに決算について
承認第2号	第4次東海村地域福祉活動計画及び第3次東海村社会福祉協議会発展・強化計画の見直しについて
議案第1号	評議員及び役員等の報酬に関する規程の改定について
議案第2号	評議員選任規程の改定について
議案第3号	評議員選任・解任委員会運営規定の改定について
議案第4号	理事・監事候補者の推薦について
議案第5号	評議員候補者の推薦について
議案第6号	評議員選任・解任委員の選任について
議案第7号	東海村社会福祉協議会評議員会の開催について
第2回理事会(令和3年6月24日 多目的ホール 出席者:理事11名, 監事3名)	
報告第2号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算について
議案第8号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算(案)について
議案第9号	会長・副会長及び常務理事の選任について
議案第10号	東海村社会福祉協議会評議員会の開催について
第3回理事会(令和3年11月16日 多目的ホール 出席者:理事11名, 監事3名)	
報告第3号	令和3年度上半期職務執行状況の報告について
報告第4号	令和3年度東海村社会福祉協議会会員加入状況について
報告第5号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第6号	第5次東海村地域福祉活動計画並びに第4次東海村社会福祉協議会発展・強化計画の策定方針について
報告第7号	東海村地域福祉活動計画推進委員会及び上半期事業並びにコロナ禍の取組について
報告第8号	令和3年度東海村社会福祉協議会上半期監査結果について
議案第11号	財政基盤検討委員会の設置について
議案第12号	東海村社会福祉協議会評議員会の開催について
第4回理事会(令和4年3月24日 多目的ホール 出席者:理事11名, 監事3名)	
報告第9号	令和3年度下半期職務執行状況の報告について
報告第10号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第11号	令和3年度事業評価の報告について(各種委員会報告含む)
同意第1号	令和4年度事業計画並びに収支予算(案)について
同意第2号	東海村社会福祉協議会定款の変更について
議案第13号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算(案)について
議案第14号	東海村社会福祉協議会経理規程の改定について
議案第15号	役員等賠償責任保険の契約更新について
議案第16号	第三者委員の選任について
議案第17号	東海村社会福祉協議会評議員会の開催について

## ○ 評議員会

第1回評議員会(令和3年6月23日 出席者:評議員24名)	
報告第1号	令和2年度東海村社会福祉協議会補正予算について
承認第1号	令和2年度東海村社会福祉協議会事業報告並びに決算について
承認第2号	第4次東海村地域福祉活動計画及び 第3次東海村社会福祉協議会発展・強化計画の見直しについて
議案第1号	評議員及び役員の報酬等に関する規程の改正について
議案第2号	理事及び監事の選任について
※報告第2号は欠番とする。	
第2回評議員会(令和3年7月19日 多目的ホール 出席者:評議員19名)	
報告第3号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第4号	東海村社会福祉協議会会長・副会長の就任について
承認第3号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算(案)について
第3回評議員会(令和3年11月24日 多目的ホール 出席者:評議員18名)	
報告第5号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第6号	第5次東海村地域福祉活動計画並びに 東海村社会福祉協議会発展・強化計画の策定方針について
報告第7号	東海村社会福祉協議会事業進捗状況及びコロナ禍の取組みについて
第4回評議員会(令和4年3月30日 多目的ホール 出席者:評議員18名)	
報告第8号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第9号	令和3年度事業評価の報告について
承認第4号	令和4年度事業計画並びに収支予算(案)について
承認第5号	令和3年度東海村社会福祉協議会補正予算(案)について
議案第3号	東海村社会福祉協議会定款の変更について

## ○ 評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会 (令和3年6月10日決議)	
議案第1号	社会福祉法人東海村社会福祉協議会評議員の選任について

## ○ 財政基盤検討委員会

第1回財政基盤検討委員会(令和4年2月2日 オンライン 出席者:7名)	
(1)財政基盤検討委員会について(趣旨・スケジュール説明)	
(2)東海村社協における財政の状況と論点について	
第2回財政基盤検討委員会(令和4年3月18日 オンライン 出席者:7名)	
(1)福祉推進基金について	
(2)その他	

## ○ 社協監査等

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
5月24日	令和2年度東海村社会福祉協議会事業報告並びに会計報告監査	東海村総合福祉センター 内ボランティア室3	社協監事2名 社協各担当職員
10月29日	令和3年度上半期 東海村社会福祉協議会事業報告並びに会計報告監査	東海村総合福祉センター 内ボランティア室3	社協監事3名 社協各担当職員

## 第4次東海村地域福祉活動計画

### 1 住民主体による普遍的な小地域ネットワーク活動の推進

1. 住民活動とともに推進する仲間である地区社協活動が、地域に広く根づき次世代につながられるように、協力支援を行います。

#### ○地区社会福祉協議会活動支援事業(地区社協会長連絡会)

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
5月14日	・正副会長の選任について ・各種委員の変更について ・情報交換(各地区の情報交換)※以降毎回実施	総合福祉センター ボランティア室	地区社協会長・専門 サポーター、関係課 室、村社協 計22名
7月9日	・令和4年度地区社協予算積算基準について ・地区社協会長連絡会感謝状贈呈制度について ・地域でのICT活用に関する情報提供	総合福祉センター ボランティア室	地区社協会長・専門 サポーター、関係課 室、村社協 計21 名
10月15日	・下半期の事業について ・地区社協会長連絡会感謝状贈呈制度について ・事業案内(近所のできるスマホ講座)	総合福祉センター ボランティア室	地区社協会長・専門 サポーター、関係課 室、村社協 計18 名
12月23日	・令和3年度住民座談会事業について ※コロナウイルス再拡大の影響を受け、その後中止	総合福祉センター ボランティア室	地区社協会長・専門サ ポーター、関係課室、 村社協 計17名
3月3日	・令和3年度地区社協助成金清算について ・令和3年度住民座談会代替事業の検討について	総合福祉センター ボランティア室	地区社協会長・専門 サポーター、関係課 室、村社協 計18

#### ○ふれあい協力員リーダー研修会

実施時期	内 容	会場	対象及び人数
7月9日	「ふれあい協力員リーダーの役割と各地区社協の取組について」淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科准教授の山下興一郎氏の講義形式での研修会を実施	総合福祉センター 多目的ホール	30名

2. 地域の特性や社会資源を生かし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを地域一体となって推進します。

#### ○ ふれあい・いきいきサロン事業

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
	・サロン交流会 新型コロナウイルス感染防止のため中止		

#### ○ ふれあい活動推進事業

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
○食事会 (食事を介する事業)	・新型コロナウイルス感染防止のため全地区中止。 ・竹瓦地区(石神地区社協)において、対面型から配食型に変更し、対象者33名へ購入弁当を配布した。 ・食事会利用者(約330人)に対して、「つながるふくしんぶん」を毎月発行。うち2回ニーズ調査の往復はがきもあわせて発送。		

#### ○ 福祉機材等貸与・啓発事業

貸出用具	貸出数
車いす	71件

  

実施時期	貸与機材・開催内容	貸与件数
通 年	レクリエーション機材(ニュースポーツ含む) 研修会用機材(プロジェクター等) イベント機材(綿菓子機, ポップコーン機, かき氷機等) その他機材・備品	167件 10件 8件 16件

3. 情報発信や考え語り合う場を通し、住民一人ひとりが主人公となる普遍的な地域福祉活動を推進します。

○地区社会福祉協議会協働事業

地区	実施日及び内容	会場	人数
舟石川・船場	4月 総会(書面表決)	舟石川コミュニティセンター	
白方	4月 総会(書面表決)	白方コミュニティセンター	
石神	4月 総会(書面表決)	石神コミュニティセンター	
真崎	4月24日 総会	真崎コミュニティセンター	
中丸	4月 総会(書面表決)	中丸コミュニティセンター	
村松	4月17日 総会	村松コミュニティセンター	

4. これまで培ってきた経験を生かし、地域とのつながりを深めながらより主体的な活動ができるように、福祉団体などの運営を側面的に支援します。

○福祉団体

福祉団体名	内容
1東海村高齢者クラブ連合会	●総会(書面表決)会議・行事等の会場・バスの調整, 春・秋のスポーツ大会(春の大会は8月に延期)(秋の大会は中止), 村の総合スポーツ大会(10月)
2東海村母子寡婦福祉会	●総会(書面表決)●視察研修(11/18常陸太田方面・児童養護施設 菅田養徳園)
3東海村遺族会	●戦没者の英霊の顕彰及び会員相互の親睦交流や研修会等の開催 ●総会書面表決, 全国戦没者追悼式(8月15日), 茨城県戦没者追悼式(11月11日), 茨城県戦没者遺族大会(12月1日)
4東海村身体障害者福祉協議会	●総会(5月 書面表決) ●役員会(4月14日, 12月13日, 1月13日)
5東海村心身障がい児者親の会	●総会(書面表決 5月), クリスマス会(配布 12月), 廃品回収中止
6東海村日赤奉仕団	●総会(書面表決), 役員会(2/14), 協議会(3/14)
7東海村在宅介護者の会	●総会(書面表決), 会員交流会(11月8日, 12月14日), 会計監査(3月30日) ●DVD鑑賞会・親睦交流慰労会は, コロナウイルス感染防止のため中止。 ●その他毎月第2火曜日に手芸活動。
8東海村子ども会育成連合会	●総会 ●新任役員会(3月12日)にて, ボランティア登録団体の紹介・依頼の説明, 福祉活動器材の貸出の紹介チラシを配布し, 理解を図った。

## 2. 人や活動がつながりあうボランティア市民活動の推進

1. 市民活動者や団体がいきいきと福祉活動を行えるよう、ともに手を携えながら運営・活動を支援していきます。

### ○ ボランティア市民活動助成事業

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
	市町村社協ボランティア市民活動促進事業費 助成金交付(新規立ち上げ団体) ※申請団体なし		

### ○ ボランティア連絡協議会支援事業

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
4月19日	第1回役員会	えがお活動室	8人
5月19日	第2回役員会	えがお活動室	9人
5月29日	定期総会中止(書面表決)		
6月21日	第3回役員会	えがお活動室	11人
6月29日	おうえん助成金審査会	えがお活動室	8人
7月19日	第4回役員会	えがお活動室	9人
8月23日	第5回役員会(中止)		
10月18日	第6回役員会	ボランティア室2	11人
11月15日	第7回役員会	ボランティア室2	11人
12月9日	会員研修会	多目的ホール	43人
12月20日	第8回役員会	ボランティア室3	10人
1月17日	第9回役員会	えがお活動室	10人
1月28日	三役会	えがお活動室	4人
2月21日	第10回役員会	えがお活動室	9人
3月14日	第11回役員会	えがお活動室	10人
3月19日	会員交流会(中止)		

### ○ 地域福祉支援ボランティア「はーとふる」支援事業

実施時期	内 容	会 場	人数
4月21日	定期総会	「絆」多目的ホール	11名
4月8日	第1回役員会	「絆」ボランティア室	4名
10月19日	第2回役員会	「絆」ボランティア室	4名
12月14日	「はーとふる」会員研修会	「絆」ボランティア室	11名
1月17日	普通救命講習会(中止)		
2月	会員研修会(中止)		
3月5日	第3回役員会	「絆」会議室	5名

### ○ 東海村ファミリー・サポート・センター「すくすく」運営支援事業

実施時期	内 容	会 場	人数
5月	ファミサポ通信No.1発行	—	49名
9月	ファミサポ通信No.2発行	—	48名
12月9日	第1回 スキルアップ講座&交流会	「絆」ボランティア室・大広間	34名
12月14日	第2回 スキルアップ講座&交流会	「絆」ボランティア室・大広間	30名
1月17日	普通救命講習会(中止)	「絆」多目的ホール	
2月10日	交通安全講習会	「絆」多目的ホール	10名
3月	ファミサポ通信No.3発行	—	59名

## ○ 移送サービスボランティア「はーとろーど」支援事業

実施時期	内 容	会 場	人数
4月22日	編集委員会	東海村総合福祉センター「絆」	6名
4月23日	交通安全講習会	東海村総合福祉センター「絆」	11名
5月12日	令和3年度定期総会	東海村総合福祉センター「絆」	9名(委任状6名)
7月3・4日	移動サービス運転者認定講習会	笠間市友部社会福祉会館	1名
7月3日	「はーとろーど通信」第44号発行		
7月16日	茨城福祉移動サービス団体連絡会総会(書面表決)		
1月17日	普通救命講習会(中止)		
2月18日	交通安全講習会(中止)		
3月8日	第2回役員会		
3月26日	移動サービス運転者認定講習会	笠間市友部社会福祉会館	1名
3月31日	「はーとろーど通信」第45号発行		

## ○ 有償サービス実績

団体名	サービス名等	本年度実績			前年度実績
		協力会員数	回数	時間	
はーとふる	家事援助	25人	回数	223	180
			時間	254	195
	身体拘束廃止施設援助	37人	回数	0	0
			時間	0	0.0
すくすく	個人保育サポート	58人	回数	958	537
			登録会員数	1,213人	2,269
	集団保育サポート	46団体	回数	297	137
			登録会員数	46団体	880
はーとろーど	移送サービス	19人	回数	577	227
			登録会員数	64人	577
合 計			回数	2,055	1,081
			時間	3,980	2,418

2. これからを担っていく若き福祉の芽を育てるため、長期的視点に立ち福祉教育を推進し、福祉の心を醸成します。

## ○ 福祉教育推進校事業(福祉学習支援事業)(学校別)

実施時期	内 容	対 象	参加実績(名)
6月1日	福祉って何だろう	舟石川小4年生	85
7月13日	点字体験	舟石川小4年生	87
10月26日	車イス体験	舟石川小4年生	85
11月5日	当事者の話	舟石川小4年生	85
6月15日	福祉って何だろう	白方小4年生	87
6月29日	車イス体験	白方小4年生	87
11月16日	当事者の話	白方小4年生	87
11月25日	手話体験	白方小4年生	87
7月14日	福祉って何だろう	石神小4年生	40
11月24日	車イス体験	石神小4年生	41
12月3日	アイマスク体験	石神小4年生	41
6月17日	福祉って何だろう	村松小4年生	58
11月11日	シルバーリハビリ体操	村松小4年生	58
11月25日	赤い羽根共同募金の話	村松小4年生	58
12月13日	当事者の話	村松小4年生	57
1月20日	アイマスク体験	村松小4年生	57
6月18日	福祉って何だろう	中丸小4年生	106
7月15日	アイマスク体験	中丸小4年生	106



11月1日	当事者の話	中丸小4年生	106
1月18日	手話歌	中丸小4年生	106
11月26日	福祉って何だろう	照沼小4年生	18
11月26日	点字体験	照沼小4年生	18
11月29日	車イス体験	照沼小5・6年生	32
合計回数	18	合計人数	1,592

○ 園児による高齢者施設訪問・交流事業

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
未実施	新型コロナウイルスの影響のため未実施		

3. さまざまな特技や知識を生かした活動ができるよう、分野・対象別に市民活動者の発掘と育成を一層進めていきます。

○ 手話ボランティア養成講座(1年目コース)

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
6月30日 ～ 2月16日	厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムに沿って学習し、手話で会話ができることを目的として開催(全23回)	総合福祉センター 「絆」ボランティア室	受講者25名 手話講師3名 ろう講師3名

○ 保育サポート養成講座 (隔年実施)

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
10月4日 ～ 11月18日	保育サービス講習会	総合福祉センター 「絆」ボランティア室	受講者13名

4. 地域活動者のさまざまな想いにこたえられる拠点として、ボランティア市民活動センター「えがお」における情報収集・提供などの機能をさらに充実させます。

○ ボランティア市民活動コーディネート事業

相談紹介種別	本年度実績	前年度実績
ボランティア登録団体数	106団体	109団体
ボランティアサークル登録者数	4,493名	4,548名
個人ボランティア登録数	56名	67名
ボランティア市民活動に関する相談(要支援も含む)	27件	23件
総合学習に関すること(協力校事業も含む)	18件	14件
出前講座に関すること	0件	0件
企業ボランティアに関すること	1件	0件

### 3. その人らしさを大切にす狭間のない支援に向けたネットワークづくり

1. 一人ひとりがその人らしさを大切にす地域生活を送ることができるよう、権利擁護についての理解を広め、さらなる地域福祉を推進します。

#### ○ 福祉後見サポート事業相談支援・実績

	対象者	新規相談(件)		契約者支援(件)	
		小計	合計	小計	合計
成年後見制度に関すること	認知症高齢者	6	10	115	399
	知的障がい者	0		148	
	精神障がい者	1		133	
	その他	3		3	
日常生活自立支援事業に関すること	認知症高齢者	10	13	1092	2,463
	知的障がい者	1		386	
	精神障がい者	1		985	
	その他	1		0	

#### ○ 福祉後見サポート事業利用実績

成年後見制度	法人後見受任件数	後見監督人受任件数	出前講座開催件数	日常生活自立支援事業	新規契約者数	解約者数	令和3年度未利用者数
	6件	0件	4件		7件	6件	29件

2. 住民や地域組織・専門機関がともに手をつなぎ、暮らしの中にある一人ひとりの想いをつなぐネットワークづくりを行います。

#### ○ 東海村福祉後見サポートセンター事業法人後見受任審査会

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
12月16日	法人後見受任案件の審査について(1件)	東海村総合福祉センター「絆」ボランティア室2・3	6人

#### ○ 多機関の協働による包括的支援体制構築事業(地域支え合い体制整備事業共通)

月日	絆まるっとプロジェクト開催内容	場 所	参加者数
7月15日	(1)令和3年度事業計画と本年度の取り組みについて (2)企業を含めた多様な機関と地域や専門職との協働を考える(グループワーク)	総合福祉センター「絆」多目的ホール	17名
11月26日	村内企業との連携・協働のアイデアを出そう(グループワーク)	白方コミュニティセンター	25名
1月20日	高齢者等の“終活”について考える 新型コロナウイルスの感染防止より中止		
3月18日	高齢者等の“終活”について考える 新型コロナウイルスの感染防止より中止		

3. 相談者の悩みや不安を軽減できるように、一人ひとりの心配ごとを受け止め、問題解決に向けた助言や他サービス機関・専門機関への橋渡しができるように連携を図ります。

○ 総合相談事業

事業名	事業内容
弁護士相談	開催日数：9日 相談件数：48件
行政書士相談	開催日数：12日 相談件数：33件
福祉相談	開催日数：通年(年末年始・土日祝日を除く) 相談件数：199件
家計相談	開催日数：通年(年末年始・土日祝日を除く) 契約件数：新規7件 累計31件

○ 生活福祉資金貸付事業

	件数	内容
令和3年度新規貸付件数	0件	総合支援資金 0件 福祉費 0件 教育支援資金 0件 不動産担保型生活資金 0件 緊急小口資金 0件
令和3年度末貸付件数	19件	総合支援資金 3件 福祉費 5件 教育支援資金 7件 不動産担保型生活資金 2件 緊急小口資金 2件

○ 生活福祉資金特例貸付 申込件数(重複含む)

	件数	内容
令和3年度新規貸付申込件数	162件	緊急小口資金 55件 総合支援資金 63件 総合支援資金延長 17件 総合支援資金再貸付 27件
令和3年度末貸付申込件数	430件	緊急小口資金 172件 総合支援資金 152件 総合支援資金延長 45件 総合支援資金再貸付 61件

○ 小口資金貸付事業

	件数	貸付額
令和3年度新規貸付件数	12件	853,000円
令和3年度末貸付件数	28件	1,410,000円

○ 令和3年度小口資金貸付・償還状況

前年度末未償還金残高	貸付金	償還金	欠損処理額	年度末未償還金残高
1,388,000円	853,000円	750,000円	81,000円	1,410,000円

○ 法外援護事業

内 容	件 数
行 旅 人	1件
食糧品(フードバンク)	129件
援 護 金	1件
その他(制服・衣類など)	11件

○ 食糧品等寄付

内 容	件 数
食糧品等寄付受入	283件

○ 学習支援事業

内 容	件 数
学習支援事業	利用登録者数:59名 開催回数:44回

**4. 一人ひとりの想いが融合する地域生活支援の充実**

1. 豊かな長寿社会を創造するために、高齢者の英知が、地域で十分に生かされるよう情報発信や活動を支援します。

○ 高齢者センター管理運営事業

・施設使用状況

施設使用状況		入浴施設	陶芸作業室	機能回復プール	筋カトレーニング室	合 計
利用者数(人)	個人	5,016	1,580	1,706	1,970	10,272
	団体	-	-	-	-	-
合 計		5,016	1,580	1,706	1,970	10,272
使用料(円)		1,077,900	432,500	379,100	401,800	2,291,300

・カラオケ使用状況

使用日数	0	使用曲数	0	使用料	0

○ 高齢者センター教室・講座等開催事業

教室名	参加者数(人)	参加者延べ人数(人)
水中体操教室	53	1,059
介護予防健康体操教室	78	1,603

2. 介護保険サービスなどの提供にあたり、本人や家族の自立支援を行うとともに、人々の生活基盤である地域で展開されている福祉活動との融合を目指します。

○ 居宅介護支援事業

・居宅介護支援/介護予防支援

	介護給付	予防給付・事業対象	月合計
	利用者数(人)	利用者数(人)	
4月	98	19	117
5月	98	20	118
6月	97	21	118
7月	96	22	118
8月	95	24	119
9月	97	22	119
10月	97	21	118
11月	97	21	118
12月	93	20	113
1月	89	19	108
2月	85	18	103
3月	87	18	105
合計	1,129	245	1,374

3. 一人ひとりの個性を生かしながら社会参加を促進し、地域生活の維持継続を支援していきます。

○ 障害者センター利用状況

項目		生活介護・自立訓練事業		児童発達支援事業		
		年間	月平均	年間	月平均	
サービス日数(日)		241	20	146	12	
利用契約数(人)		270	23	276	23	
居住地	村内(人)	174	15	275	23	
	村外(人)	96	8	0	0	
性別	男(人)	114	10	217	18	
	女(人)	156	13	58	5	
事業別利用状況	基本	利用延べ人数(人)	3,111	259	719	60
	給食	契約者数(人)	270	23	—	—
		利用延べ人数(人)	2,781	232	—	—
	送迎	契約者数(人)	186	16	—	—
		利用延べ人数(人)	2,713	226	—	—
	入浴	契約者数(人)	162	14	—	—
利用延べ人数(人)		634	53	—	—	

○ 生活介護・自立訓練事業

	内 容	開催頻度
創作活動	●基本事業:作業(手芸・木工・紙すき) ●選択事業:クラブ活動(レク散策・音楽・ゲーム) オシャレ講座	毎日 1回/週 2回/月
機能訓練	●ラジオ体操, ウォーキング(「絆」2周, 雨天時は雨の日体操) ●お菓子作り(誕生会用) ●リハビリ(理学療法士・作業療法士)	毎日 随時 1回/週・1回/月

社会適応訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 戸外活動(コロナのため)中止 (県庁・千波湖, カバヤ・かわプラザ, 小集団戸外活動他)</li> <li>● 地域交流(すこやかハウス演奏会・萬有の森音楽交流・晴れカフェ・クリーン作戦・イオン東海店イエローシートキャンペーン等)</li> <li>● ボランティア交流(読み聞かせ・夏祭り等)</li> </ul>	3回/年(休止) 随時(休止) 随時(休止)
厚生相談健康指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康チェック(月初め)</li> <li>● 歯磨き支援</li> <li>● 医師による健康相談</li> <li>● 服薬管理支援, 衛生指導・生活リハビリ等</li> </ul>	1回/月 毎日 1回/隔月 随時
スポーツ・レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レクリエーション 多目的ホール: バトミントン・ダンス・バランスポール・縄跳び等 多目的グラウンド: 個別での運動等</li> </ul>	随時
教養・娯楽その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽療法(集団療法)</li> <li>● ミュージックケア</li> <li>● ビデオ鑑賞会</li> <li>● 避難訓練</li> </ul>	2回/月 毎日 随時 2回/年

#### ○ 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

	指定特定相談支援		障害児相談支援	
	新規・更新計画作成	モニタリング書作成	新規・更新計画作成	モニタリング書作成
4月	2	4	2	5
5月	2	2	3	7
6月	3	3	7	4
7月	5	2	3	7
8月	3	2	4	7
9月	7	8	8	13
10月	2	9	2	10
11月	1	5	4	10
12月	2	6	1	12
1月	2	2	3	2
2月	0	2	2	8
3月	6	7	11	5
合計	35	52	50	90

#### 4. 住民の生活を安心安全なものにしていくために、地域社会との関わりを深めます。

##### ○ きれい！スッキリ！年末ごみ出しお助け隊事業

実施時期	内 容	対象及び人数
12月	年末の大掃除時期に、独居高齢者等ごみ出しが困難な方の自宅を訪問し、自分では搬出しにくい粗大ごみ等の回収を行った。また訪問をアウトリーチの機会と位置付け、ニーズ把握や解決に向け、関係機関と連携を図り支援した。	75歳以上独居・身体障害者手帳所持独居・80歳以上の高齢者のみの世帯 128件

##### ○ 点字・録音サービス事業

実施時期	内 容	対象及び人数
広報紙発行時	「広報とうかい」や「社協だより」の広報紙の音訳・点訳、マガジン等の音訳活動の実施。	音訳CD 9名 点訳利用者 3名

○ デマンド交通運営事業

	登録者累計(人)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)	運行日数(日)
4月	10,385	3,149	126.0	25
5月	10,406	2,909	126.5	23
6月	10,424	3,488	134.2	26
7月	10,452	3,376	135.0	25
8月	10,441	3,130	125.2	25
9月	10,485	2,957	123.2	24
10月	10,506	3,327	128.0	26
11月	10,528	3,117	129.9	24
12月	10,542	3,233	134.7	24
1月	10,548	2,793	121.4	23
2月	10,564	2,793	127.0	22
3月	10,581	3,256	125.2	26
合計		37,528	128.1	293

**5. 地域ぐるみで子育て・子育てを応援するサポート体制の強化**

1. 子どもたちが心身ともに豊かに夢や希望を持って生活できるよう環境を整え、支援していきます。

○ 児童センター管理運営事業

・月別利用者数

月	利用者数(人)	月	利用者数(人)
4月	326	10月	459
5月	314	11月	467
6月	398	12月	609
7月	453	1月	482
8月	234	2月	476
9月	64	3月	587
合 計			4,869

・年間登録世帯数

市町村名	登録者数(組)	市町村名	登録者数(組)
東海村	163	水戸市	0
ひたちなか市	0	那珂市	0
日立市	0	その他	0
合 計			163

・月別活動状況

月	活動内容	参加者(人)	月	活動内容	参加者(人)
4月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・動画配信 1回	95名	10月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・砂場開放日 4回	113名 49名
5月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・ママリフレッシュ事業 1回 ・動画配信 1回	100名 9名	11月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・砂場開放日 3回 ・ママリフレッシュ事業 1回 ・ベビーマッサージ 1回 ・動画配信 1回	88名 37名 10名 親子14組
6月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・砂場開放日 4回 ・ママリフレッシュ事業 1回 ・動画配信 1回	109名 58名 8名	12月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・砂場開放日 3回 ・高校生赤ちゃんふれあい事業 3日間 ・クリスマス会 3日間 ・たこつくり 1回 ・外部講師によるリズムあそび 1回 ・カレンダー作り 3回 ・ママリフレッシュ事業 1回	134名 28名 高校生30名 親子50組 78名 16組40名 24名 58名 11名
7月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・砂場開放日 3回 ・七夕 3回 ・エンジョイ・サマースクール 2回 ・ママリフレッシュ事業 1回 ・動画配信 1回	94名 60名 48名 48名 11名	1月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・砂場開放日 2回 ・おみせやさんごっこ 3回 ・動画配信 1回	110名 15名 61名
8月	・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・砂場開放日 2回 ・エンジョイ・サマースクール 3回 ・ベビーマッサージ 1回 ・動画配信 1回  * 8/18(水)~9/26(日)まで非常事態宣言のため休館	27名 48名 親子12組	2月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・節分会 3回 ・砂場開放日 3回 ・動画配信 1回	99名 50名 32名
9月	* 8/18(水)~9/26(日)まで非常事態宣言のため休館 ・動画配信 1回		3月	・0.1.2歳さんあつまれ 6回 ・主任児童委員支援日 2回 ・子育てコーディネーター来館 2回 ・アレルギー相談 1回 ・ママリフレッシュ事業 1回 ・砂場開放日 1回 ・小学生ふれあい事業 1回 ・動画配信 1回	102名 15名 11名

2. 養育者が安心して子どもを産み育てられるように、地域ぐるみで子育て世帯を応援していきます。

○ 児童発達支援事業(母子通所事業)

	内 容	開催頻度
集団生活指導	● 身辺自立: 衣服の着脱の練習, 食事指導, 排泄指導など ● 戸外活動: 公共交通機関を乗る体験, 神峰動物園, 国営ひたち海浜公園など ● 幼稚園児の支援: 幼稚園長期休み中や週3回幼稚園での課題となる活動を支援	毎回 随時  毎火・水・金曜日 午後
発達相談及び就学等 相談	● 個人の発達に応じて個別に保護者への支援を行う ● 幼稚園・保育園と連携し, 入園時の情報提供をすることで, 利用児の一貫した療育を図る	随時 随時



### ○ 育児支援・相談事業

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
通 年	利用児の年齢に合わせ、行動範囲を狭めることの無いよう配慮をしながら支援を行った。また、利用終了時間にクールダウンを兼ねて「絵本の読み聞かせ」も行った。 子育てに悩みを抱える養育者に対しては、個別に育児相談に応じています。	児童センター遊戯室 クラブ室	児童センター利用者 育児相談・電話相談 9件

### ○ 設定活動「0・1・2歳さんあつまれ」

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
月6回	当日電話予約で0歳から2歳の乳幼児を対象に、年齢別に散歩・工作・リズム体操など年齢に応じた遊びを提供しました。また、1日から3日間で季節のイベントを開催した。	児童センター 遊戯室・図書室 「絆」多目的ホール	開催回数 54回 参加者の延べ 1,044名

### ○ 主任児童委員による育児・相談支援

実施時期	内 容	会 場	実施回数
各月 支援日 イベント時	主任児童委員による支援日・イベントへの参加	児童センター 遊戯室・クラブ室 「絆」多目的ホール	・支援日回数 17回 ・イベント各3日間開催 (運動会・クリスマス 会・節分会)

## 第3次東海村社会福祉協議会発展・強化計画

### 1. 住民ニーズに迅速かつ的確に対応する専門組織の確立

1. 積極的な情報公開・説明責任を果たし信頼される組織を、役職員一丸となって目指します。

#### ○ 苦情解決事業

通年実施

#### ○ 人事管理制度

通年実施

2. 住民から信頼され頼られる組織であるため、職員一人ひとりが常に考え、学び、行動します。

#### ○ 職員研修事業

実施時期	内 容	対象及び人数
通 年	【内部職員研修】 新規採用職員研修(6名)、新規採用職員部署研修(1名)、新規採用職員フォローアップ研修(1名)、東海村における重層的支援体制整備に向けた社協内部学習会(25名)、「予算執行マニュアル(第6版)」研修会(17名)、「人材育成基本方針(第1次改定)」学習会(24名)、「人事評価制度マニュアル」研修会(10名)	回数 7回 参加者(延人数) 84名
通 年	【外部職員研修】 中堅職員研修、コーチング研修、チームビルディング研修、スーパービジョン研修会、福祉ビジョン21世紀セミナー、市区町村社会福祉協議会管理職員研修会、ハラスメント研修、東海村女性活躍セミナー、会計基礎研修、「コミュニティソーシャルワークとファンドレイジング」基礎研修、ホームページの見直しとSNS活用研修、全国福祉教育推進員研修、生活支援コーディネーター研究協議会、医療・福祉関係者のための成年後見制度活用講座、ケアマネジャー連絡会研修、全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー、障害者相談支援従事者研修(現任研修)、サービス管理責任者研修会(基礎研修) 他	回数 131回 参加者(延人数) 137名

3. 住民誰もが、必要とする情報を得られるよう創意工夫し、積極的な広報活動を行います。

○広報啓発推進事業

・「社協だよりとうかい」発行

配布日	内 容	発行部数
第99号 5/25	令和3年度重点事業、令和3年度予算の概要、もぐもぐお届け便のご案内(第2弾)、ふれあい福祉まつり中止のお知らせ、～車での送迎も対応可能となりました～ファミサポ子育て支援、ボランティア保険のご案内、困ったときはお互い様！特設！きずなパントリーを開催しました、令和3年度「水中体操教室」「介護予防健康体操教室」参加者募集、寄付募集、寄付報告、フードドライブの寄付報告、あなたのお悩みをお聞きます、令和3年度社協会員を募集しています	16,880部
第100号 8/25	新評議員・役員を紹介します、社協だより第100号達成記念インタビュー、次なるステップに向けて地域福祉活動計画の見直しを行いました、コロナ禍でも継続中地域のつながりづくりを紹介します、お店の一角でスマホ体験！ぶらっとスマホ広場@ウェルシア、ファミサポ保育サービス講習会受講生募集、フードロスマッチング事業～どうぞパスポート～をはじめました、ボランティア紹介(点字サークルぶらいゆ)、寄付募集、寄付報告、助け合いの気持ちをつなごう！特設！きずなパントリー開催、あなたの悩みをお聞きます、介護のことなら～お気軽にご相談ください～、児童センターで砂場開放をはじめました	17,000部
第101号 11/25	第71回茨城県社会福祉大会表彰、もぐもぐお届け便のご案内(第3弾)、みんな地域のボランティアふれあい協力員リーダー研修会を実施しました、いばらきつなぐプロジェクト赤い羽根共同募金寄付付き商品はじまりました、歳末たすけあい事業育児用品交換会開催します、寄付募集、寄付報告、あなたの悩みをお聞きます、企業の社会貢献活動、～「ファミマフードドライブ」で食の支援を～新たな門出を応援します！新高校生入学応援事業、折り紙の壁画「見晴らしの丘」が完成しました	17,160部
第102号 2/25	令和3年度社協会員加入状況報告、長きにわたり地域福祉活動に貢献！表彰伝達式を行いました、こんなお心当たりはありませんか？あなたを守る3つの事業を紹介します！、生活支援員研修会を行いました、寄付募集、寄付報告、桜の下でたくさんの笑顔を咲かせたいcherry blossom marketを開催します、「あなたの悩みをお聞きます、令和3年度「介護予防健康」「水中体操教室」参加者募集	17,160部

・ホームページ管理運営

ホームページ	内 容	アクセス数
社会福祉協議会	トピックス、社協概要、各種事業PR、月間行事予定、地域福祉活動計画紹介、社協だより東海pdf、赤い羽根共同募金お知らせ、地区社協関係記事、社協へのアクセス、リンク集	33,243件

4. 住民とともに地域福祉活動計画を策定し、広く評価を得て、時代のニーズに合わせて柔軟に展開していきます。

○ 地域福祉活動計画推進委員会

実施時期	内 容	会 場	出席委員
5月17日	第1回東海村地域福祉活動計画推進委員会	総合福祉センター「絆」 多目的ホール	9名
10月25日	第2回東海村地域福祉活動計画推進委員会	総合福祉センター「絆」 多目的ホール	10名
11月15日	第1回東海村地域福祉活動計画ワーキングチーム全体会	総合福祉センター「絆」 多目的ホール	23名
2月3日	第3回東海村地域福祉活動計画推進委員会	総合福祉センター「絆」 多目的ホール	11名
3月3日	第4回東海村地域福祉活動計画推進委員会	総合福祉センター「絆」 多目的ホール	10名

## 2. 住民の理解と協力に基づく安定した経営基盤の確立

1. 制度・募金の趣旨や目的を積極的に発信し、多くの理解を得てさらなる増強を目指します。

### ○ 赤い羽根共同募金事業

・赤い羽根共同募金

※( )内は前年度

実施時期	内 容	実 績
10月1日～12月31日	目標額 7,063,000円 (6,904,000円)	実績額 6,966,052円 (6,848,666円)
	内訳	
	① 戸別募金	5,124,500円 (5,165,500円)
	② 法人募金	873,700円 ( 710,000円)
	③ 職域募金	461,030円 ( 532,749円)
	④ 学校募金	269,573円 ( 183,465円)
	⑤ 街頭募金	59,965円 ( 19,027円)
	⑥ 寄付つき商品	77,370円 ( 89,314円)
	⑦ その他(募金箱設置等)	99,914円 ( 148,611円)

・歳末たすけあい募金

※( )内は前年度

実施時期	内 容	実 績
12月1日 ～ 12月31日	目標額 2,354,000円 (2,350,000円)	実績額 2,255,793円 (2,253,250円)
	内訳	内訳
	① 戸別募金	2,219,000円 (2,248,500円)
	② その他(個人募金・イベント募金)	36,793円 ( 4,750円)

### ○ 社協会員制度

※( )内は前年度

実施時期	内 容	実 績
通 年	内 訳	会員数 7,670件 (7,818件)
	① 普通会员 300円以上/世帯	会費額 3,290,400円 (3,314,900円)
	② 特別会員 1,000円以上/世帯	① 7,518件 (7,673件) 2,255,800円 (2,301,900円)
	③ 法人会員 5,000円以上/団体	② 10件 (3件) 13,600円 (3,000円)
		③ 142件 (142件) 1,021,000円 (1,010,000円)

### ○ 善意銀行運営事業

項 目	金 額	備 考
預託金品等	1,775,539円	預託金:62件(含む未使用テレカ等450,100円) 預託品:192件 使用済み切手等:169件
払出金等	777,000円	払出件数:1件
福祉推進基金積立金	1,325,439円	善意銀行残高に自主財源497,164円を加算して積立てた。
善意銀行残高	828,275円	預託金:40件 令和3年度は、寄付金収入と未使用切手等の売却収入の合計1,325,439円の収入があった。売却収入のうち、497,164円は過去に計上していた分なので、二重計上を避けるために差し引いて計上した。

○ とうかい明日への架け橋基金運営事業

項目	金額	備考
預託金品等	632,509円	預託金:22件
払出金等	1,338,000円	払出件数:3件

2. 安定した経営基盤を確立するため、新たな自主財源確保の方法を確立し、積極的かつ着実に財源確保に取り組みます。

○ 総合福祉センター管理運営事業

入館者数	開館日数	1日平均	視察受入
89,167人	288日	310人	1件

貸館業務	多目的ホール	視聴覚室	大会議室	ボランティア室1	ボランティア室2	ボランティア室3	調理実習室	合計
利用件数(件)	401	0	0	105	146	213	2	867
利用者数(人)	7,711	0	0	849	1,640	2,369	18	12,587
使用料(円)	328,000	0	0	1,600	159,200	38,000	0	526,800

○ 総合福祉センター運営協議会

実施時期	内 容	会 場	対象及び人数
第1回 11月29日	(1)総合福祉センター運営委員会設置規程の改正について (2)委員長・副委員長の選任について (3)新型コロナウイルス感染対策に係る各センターの運営の経緯及び現在の状況について (4)総合福祉センターの福祉拠点としての機能拡充に向けた検討状況について	多目的ホール	8名
第2回 3月17日	(1)総合福祉センター運営委員会の開催方法の変更について (2)総合福祉センターの福祉拠点としての機能拡充に向けた検討 ①「みんなが集まる絆食堂」の進捗状況について ②共有スペースふれあいロビーの活用について	多目的ホール	6名

○ 法人財源運用管理

実施時期	内 容	実 績 ※( )内は前年度
通 年	内 訳	実績額 423,472,152円 (417,819,085円)
	① 社協会費	① 3,290,400円 (3,314,900円)
	② 寄付金(善意銀行)	② 828,275円 (491,585円)
	③ 寄付金(とうかい明日への架け橋基金)	③ 632,509円 (10,616,681円)
	④ 東海村補助金	④ 146,211,136円 (142,210,280円)
	⑤ 東海村受託金, 指定管理受託金	⑤ 195,687,502円 (201,854,136円)
	⑥ 県社協受託金	⑥ 3,912,400円 (4,687,900円)
	⑦ 共同募金助成金	⑦ 8,027,070円 (9,870,983円)
	⑧ 介護保険収入	⑧ 18,018,224円 (18,473,547円)
	⑨ 障害福祉サービス等事業収入	⑨ 47,497,145円 (36,915,754円)